

広げよう！優良実践の輪！

～平成30年度 優良実践校の取組～

取組 1



学級会の様子

2 学級会の充実

1 はじめに
本校は県南部に位置し児童数約910名の大規模校です。意思疎通が苦手で自主性に乏しいといった傾向を改善するための、特別活動の研究を柱とした取組の概要を紹介します。

学級活動の話し合い活動を中心に特別活動の研究に取り組みました。児童全員で学級目標を決め、学級生活のあらゆる場面でその実現を目指しました。学級生活を楽しく豊かにするために、議題収集から計画委員会での準備、実践という学級活動の一連の流れを大切にしたい取組も積み上げてきました。少数意見も大切にしながら、折り合いをつけて集団決定をしていく経験を重ねたことで、よりよい合意形成をする力がついてきました。

3 ハッピーポストを活用した人間関係の構築

学校生活の中で見つけた思いやりのある行動やがんばっていること、うれしかったことへのお礼の気持ちなどを書いてハッピーポストに入れると、児童会の担当児童が相手に届けます。



幼稚園児との交流会

4 保幼小中の連携と地域連携
庄地区は小学校と中学校、さらには幼稚園・保育園も隣接しているため連携しやすい好条件にあります。運動会での中学校吹奏楽部のドリル演奏や園との交流会などに加え、学区内の清心学園との連携行事も行いました。児童の安全確保、学習支援、環境整備のための地域の協力を

児童から児童、教師から児童、児童から教師へと全校で温かいやり取りが重ねられています。小さなことでもお礼や励ましの気持ちを伝え認め合うことは、自己有用感や自己肯定感を高めることにつながっています。

6 おわりに

取組の結果、児童相互、児童と教職員との信頼関係のもと、落ち着いて学習に取り組むことができました。今後も、主体的に自信をもって学習に取り組む児童を育てたいと思います。

(校長 小野弘志)

5 その他の取組

岡山型学習指導のスタンダードの徹底による学習基盤の確立に取り組んできました。あいさつ運動を継続し、生活に根ざしたあいさつ励行を続けてきました。

制も整っています。小中9年間お世話になる庄調理場との連携も大切にしています。「庄のみそラーメン」を始めとする自校の給食を自慢に思い、感謝して食べる気持ちを育てています。学区内の遺跡が日本遺産に認定されたことを生かし、地域の歴史や文化遺産により関心を深めていくように工夫をしています。

よりよい人間関係の構築と主体的な
学校生活を創造する児童の育成
倉敷市立庄小学校